



## 目次

- ・聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所医療キャンプレポート エリアス・アケチ
- ・KELKAMARAMI コミュニティ自立支援活動レポート 鈴木佳奈
- ・社会ボランティア賞受賞のご報告 石川佳子

皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか？平素より私たちアフリカ支援 アサンテ ナゴヤの活動にご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。コロナ禍でケニアに出かけることもできず、国内の活動もままならない状態が続きますが、ゲム村の診療所ではケニア人医療スタッフによる医療キャンプが開催されました。これはRUNELDの自立的活動であり、今後の継続を期待しています。

今回のニュースターではエリアス氏の医療キャンプ報告に加え、Kelkamaramiでの活動報告、嬉しい受賞のお知らせを掲載します。どうぞご一読ください。



## 聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所医療キャンプレポート

RUNELD エリアス・アケチ

2021年のメディカルキャンプは、アサンテ ナゴヤとの協働の歴史の中で最初の試みとなりました。キャンプは9月16日(木)から18日(土)までの日程で実施されました。多くの人々が計画に参加し、ゲム村の人々が患者として来場し、3日間のキャンプは大変活発なものとなりました。



キャンプを実施した医療スタッフは以下の通りです。聖テレサ・アサンテナゴヤ診療所の臨床医に加え、地元ホマベイ郡の病院から6名の臨床医が参加しました。診療所の看護師2名で、1人はシルヴィアと共に薬局で仕事をし、もう1人は母子保健を担当しました。診療所の検査技師には地域保健ボランティア(CHV)1名が助手に付きましました。地元のボランティア10名が患者をそれぞれの診療室に案内しました。また、私たちの医療キャンプには行政から公衆衛生担当官が派遣され、保健衛生手順がすべて遵守されていることの承認を受けました。キャンプは7人の臨床医が診療にあたり、その成果は素晴らしいものとなりました。

ケニアのCOVID-19の状況は、まだ毎日感染がありますが、以前ほど多くはありません。パンデミック以来、ケニア全国で246,530件の感染と4,995件の死亡が発生しています。私たちはCOVID-19ガイドラインを遵守し、ボランティア、患者、臨床医、看護師、検査技師、および薬局のスタッフの全員にマスクを無料で提供しました。また手指洗浄や消毒のための設備も整えました。



3日間の医療キャンプでは、診療、予防接種、家族計画、検査、投薬および治療が提供されました。患者数は16日は247人、17日は365人、そして18日は314人で、トータルで926人でした。患者さんたちは、「無料」であることを特に喜んでいました。アサンテナゴヤのご支援に感謝申し上げます。

特に印象的な患者さんのエピソードをご紹介します。その男性は年を取っていて、これまで耳を掃除したことがなく、耳垢が蓄積して耳を塞いでいました。そのせいで彼は耳が聞こえなくなっていたのですが、施術によって聴力回復し、翌日お礼を言うためだけにわざわざクリニックにやってきました。

アサンテナゴヤの財政的支援がなければ、これらはすべて実現不可能でした。3日間のキャンプで使用した薬剤を購入することができたのは、アサンテの資金のおかげです。フェイスマスク、手袋、消毒剤、臨床医とボランティアの人件費にも充てることができました。ゲム・イーストの人々に奉仕することができるよう私たちに与えられた力と健康を神に感謝し、私たちのことをいつも心に留めて下さっているアフリカ支援 アサンテ ナゴヤに感謝いたします。皆さまのご支援は、3日間の医療キャンプを成功させる上で本当に大いに役立ちました。ありがとうございました。Erokamano ahinya。



## KELKAMARAMI コミュニティ自立支援活動レポート

長崎大学大学院

鈴木 佳奈

いつもお世話になっております。

7月より別事業にてケニアのホマベイカウンティに赴任しております、鈴木佳奈と申します。先日 Kelkamarami を訪れることができましたので、ご報告させていただきます。

はじめに少し残念な話を申します。「お母さんお父さんたちのための学校」として始めた Kelkamarami の学校プロジェクトですが、現在、学校の先生方と HIV サポートグループ（子供のお母さんお父さん、保護者を含む）とで対立状態にあるとのことです。理由は、信頼関係の崩れです。

コロナ禍に伴い、ケニアの教育課程は今大きく変化しています。小学校3年生で一度全国共通の試験を受け certificate をもらい進級するようです。試験にはお金を払う必要があり、お母さんお父さんたちはお金を集め、校長先生に渡したようですが、結局校長先生たちが使ってしまい、certificate がもらえず進級できなかった子が多く出てしまいました。大変悲しい出来事です。

また、校舎をきれいにしたことにより地主である村長さんが校舎を自分のものにしようとしているという噂も聞きました。これらのことにサポートグループのメンバーは抗議をしたようですが、反対に学校プロジェクトから追い出されてしまったとのことです。





サポートグループにとっては災難がこれでもかと続いています。なぜか彼らは驚くほど元気でした。負けたくない、また頑張りたい、コミュニティのためになることを今度こそ実現したい、そんな力強い声が多く聞かれました。グループの団結力は以前よりも増しているようにも感じました。養鶏のプロジェクトは順調で、学校プロジェクトから追い出される前は、卵を子どものランチにする給食システムを続けていたとのことでした。

ご支援いただいている皆様にもいつもよいニュースをお届けできず大変申し訳なく思います。しかし、このようにグループのメンバーが強く希望を持ち続けられるのは、皆様のご支援のおかげです。引き続きお母さんお父さんたちと話し合いながら、現地の情報をお届けできたらと思いますので、ポレポレ（スワヒリ語で‘ゆっくり’）見守っていただければ幸いです。

追伸：ホマベイカウンティの Simbi 湖に、ついにフラミンゴが訪れてくれました。さだまさしさんの歌詞にあります「ビクトリア湖の朝焼け 100 万羽のフラミンゴが～」も近い将来見ることができるとも思いません。皆様がまた安心してケニアを訪れることができることを祈っております。



## 社会ボランティア賞受賞のご報告

アフリカ支援アサンテ ナゴヤ  
理事長 石川 佳子

平素は当 NPO へのご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染状況に少し落ち着きが見られる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

この度、国際ソロプチミスト名古屋-中様のご推薦により、公益財団法人ソロプチミスト日本財団より当 NPO に対し、社会ボランティア賞を賜りました。大変光栄なことで、身の引き締まる思いでございます。

公益財団法人ソロプチミスト日本財団は、ソロプチミスト精神に則り、さまざまな奉仕活動に対する援助、協力を行うことにより、より豊かな生活の実現及び国際相互理解の促進寄与することを目的に、多くの事業を実施されています。

その事業の中の、『発展途上国等への国際協力活動に対する支援』という観点から、国際ソロプチミスト名古屋-中様は、私どもアフリカ支援アサンテナゴヤ設立当初よりご支援をしてくださっています。

今回いただいた社会ボランティア賞は、日本財団が掲げていらっしゃるいずれかの分野に該当する活動を対象に、地域社会のニーズに適合した地域密着型のボランティア活動を継続的に行い、誠実に責任を果たしていることを称えてくださる賞です。これまで、私どもの活動を支援してくださった皆様に心

より感謝申し上げます。

公益財団法人ソロプチミスト日本財団は、今回私どもがいただいた社会ボランティア賞のほかに女性研究者賞、千嘉代子賞など沢山の顕彰及び支援をされています。

今年度のドリーム賞は「はやぶさ2」のプロジェクトリーダーを務められたJAXAの津田雄一博士が受賞されました。ドリーム賞は自身の活動やその成果によって、女性や子どもたちに夢や勇気を与え、明るい未来を築くことに貢献した人を称える賞です。まさしく相応しい方であると思います。

11月2日に京都で開催されました受賞式に参列させていただきましたが、全国各地より、素晴らしい活動をされている方々が参列なさっていました。いただいた賞に恥じないよう、これからも活動を続けて参る所存でございます。

このような栄えある賞をいただく機会を賜りました国際ソロプチミスト名古屋一中様、推薦文を書いてくださった、愛知県医師会長の柵木充明先生に心から御礼申し上げます。

今後とも、当NPO法人へのご理解、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



## お知らせ

2022年5月（予定）

2022年度第1回総会

**\* 会費、賛助会費、協賛及び寄付金をいただいた企業・団体および個人（敬称略）**

**（2021年4月1日から2020年11月10日までにご支援をいただいた皆様です）**

尼子道子、内海みどり、乾朋子、竹内仁美、岩田慈、石川佳子、坂光信夫、藤村彰吾、内海眞、加藤万理、宮本信代、森下理香、鶴飼利子、杉本みな子、石居尚子、平川工業株式会社、手取屋瑞子、藪下彩子、山本由紀、杉江修治、小田賢一、小田キミエ、野々山洋子、井上由記恵、土屋二郎、石田義人、藤田麻里子、片桐初男、平野雪夫、花木達美、見田くるみ、小島美恵子、服部万里子、大岩洋子、村井謙治、川田初美、手塚和子、遠藤清美、日比野福代、日比野文夫、日比野公治、日比野祐士、杉山恵美子、岩田光、美濃和茂、服部将也、大下博、住友正武、住友光子、河野泰宏、堀井城一朗、平野吉廣、百合草宮子、村瀬幸子、（有）ヤマ土地、佐藤陽太、丹羽咲江、土屋久仁子、宮城島拓人、坂元るり子、宗賀浩子、宮田靖志、鈴木泉、中野朋儀、知光祐希、眞崎満代、石丸佳代子、村上優、山田洋平、石黒博人、榊原純夫、河津芳子、渋谷伸子、岡田智子、森本明子、垣越咲穂、安藤かな子、石井圭子、光川千鶴子、伊藤絹代、青山純也、青山真夕、宮下悠子、一宮中ライオンズクラブ、森岡悠、（株）福住、片岡紀子、玉木奈美枝、青木孝夫、合原年子、白野倫徳、国際ソロプチミスト名古屋一中、坂田侑平、古宮伸洋、菱田純代、菊地正、岸田義昭、井上重夫、山内礼子、AOI 募金、山本直彦、公益財団法人 ソロプチミスト日本財団

**\* 今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。**

事務局：名古屋市東区葵 1-25-1 ニッソビル 906 TEL/FAX：052-933-1588 HP：asante-nagoya.com